

# 第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区地域福祉保健計画の愛称です。  
身近なまちに知り合いが増え、  
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが  
地域の皆さんとともに取り組みます。



## 基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

### 1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

### 2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

### 3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

## 地区別 計画

地区ごとの課題  
に対する取組

## 区全域 計画

区全域に共通する課題  
に対する取組  
地区別計画を  
支える取組

きらっとあさひプランを  
みんなで話し合い、確認しながら  
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター  
あさひくん

一つひとつの取組が  
「安心して自分らしく暮らせるまち」  
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン  
マスコットキャラクター  
あさちゃん  
きらっとあさひプランの  
詳細はこちら



# 希望が丘地区

中希望が丘※  
東希望が丘※  
南希望が丘※  
※ 他の地区にもまたがっています。

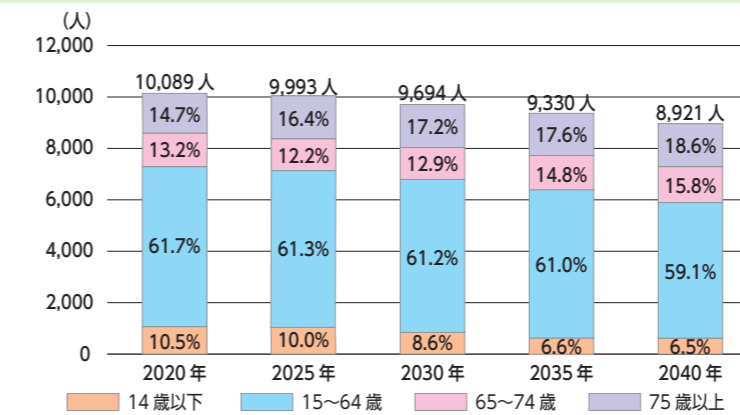


## あなたの まち は、どんなまち？

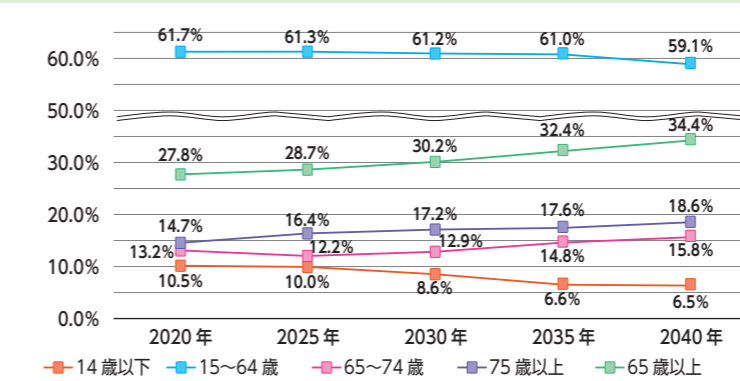
希望が丘地区は、東西にのびる、一連の丘陵地に開けた住宅地で、南部は南斜面、北部は北斜面となっています。駅周辺から放射線状に道路が整備され、商店会が形成されています。また、駅周辺は集合住宅が中心に整備されていますが、全体的には戸建て住宅が広く整備された地域でもあります。

## 今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ  
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約10,000人で、  
今後は減少傾向で推移すると見込まれます。  
2030年には、14歳以下は8.6%、  
65歳以上は30.2%となる見込み  
です。

目指す  
まちの姿

# 希望が丘地区

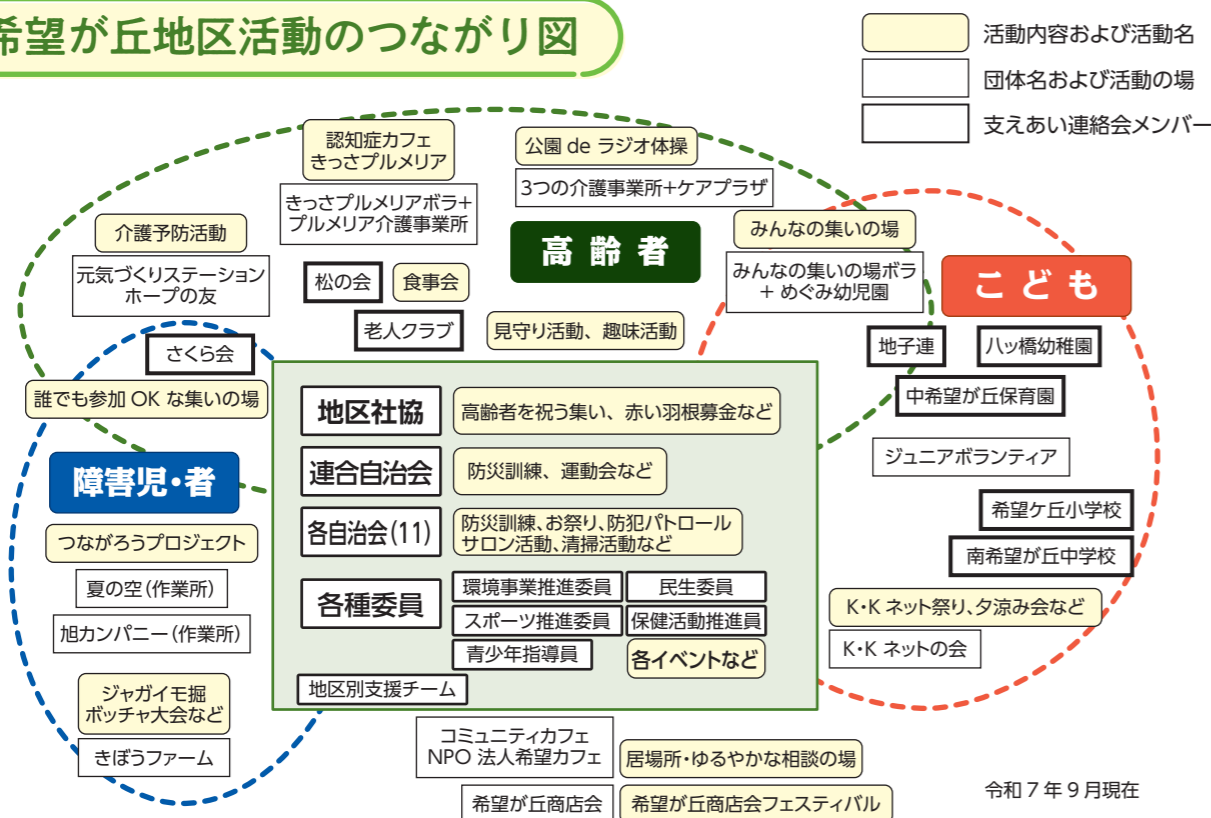
## 世代や環境を超えて コミュニケーションが自然と生まれるまち

地域住民が、いかなる時も世代や環境が違っていてもお互いを理解し、コミュニケーションが自然と生まれることにより、つながりや助け合いのあるまちづくりを目指します。

### これまでの取組

- 「相談しよう」チラシを作成し、店舗や作業所の協力を得て地区内で配架・配付したことで、ちょっとしたことでも相談できるとの理解が広まった。
- 支えあい連絡会で地域のこどもの現状を話し合った。

### 希望が丘地区活動のつながり図



### 推進体制

希望が丘地区支えあい連絡会…地区社会福祉協議会、自治会・町内会、民生委員児童委員協議会、子供会、老人クラブ、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、環境事業推進委員、PTA、学校、幼稚園、保育園、福祉・保健施設、ボランティアグループ、地区別支援チーム（区役所、南希望が丘地域ケアプラザ、区社会福祉協議会）

### 目標と主な取組

#### 目標 A 地域全員参加の支え合いのまちづくり

きらっとあさひプラン「地域福祉保健計画」を知る→具体的な活動→変化を感じる

- ▶ きらっとあさひプランの周知
- ▶ 支えあい連絡会運営
  - 地域の中での情報交換と、団体(子育て、高齢者、自治会町内会等)どうしのつながりづくりの場を提供し、子育て世代などより多くの方が連絡会と連携できるよう進めていく。
  - また、2年交替体制に伴う、事務引継を徹底する。

#### 目標 B つながりのあるまちづくり

お互いがあいさつをし、地域の集まりで知り合いを増やし、誰もが交流できる機会をつくる

- ▶ 既存の活動の継続とさらなる広がり
  - 保育園や幼稚園、学校等の協力により、こどもを核とした地域づくりを進める
- ▶ 地域での集まりでの多世代交流
- ▶ 身近なことからうまれるつながり
  - 少人数や短い時間など、誰でも気軽に立ち寄れるゆるやかなサロン（地区センター・公園）を増やす



K.K. ネット 夕涼み会



高齢者を祝う集い

#### 目標 C 助け合いのあるまちづくり

誰もが安心して暮らせるような助け合いのあるまちづくり、支援の輪を広げる

- ▶ 既存の活動の継続とさらなる周知
- ▶ ちょっとした困りごとを地域で解決
- ▶ 相談しやすい地域づくり
  - 「そうだ相談しよう」チラシの配付や声掛けにより、困りごとなどの課題を吸い上げ、解決に向けて取り組む



#### 目標 D 新しい仲間、新しい生活へのまちづくり

多様な人が一緒に、安心して暮らせる新しい生活

- ▶ 多様な人が住みやすいまちに
  - 地域でのイベント・事業など様々な活動において、障害者施設との連携を進める
- ▶ 新しい人とのつながりやコミュニティづくり



赤い羽根街頭募金